

# 地球温暖化対策実施状況報告書

2020年 9月 25日

（報告先）  
横浜市長

住所 千葉県千葉市美浜区中瀬2-6-1  
WBGマリブイースト22F  
氏名 株式会社OPA  
代表取締役社長 山崎 満寿

（法人の場合は、名称及び代表者の氏名）

横浜市生活環境の保全等に関する条例（以下「条例」という。）第144条第2項の規定により、次のとおり報告します。

## 1 地球温暖化対策事業者等の概要

事業者の氏名又は名称 （代表者の氏名）	株式会社OPA 代表取締役社長 山崎 満寿				
事業者の主たる 事業所の所在地	千葉県千葉市美浜区中瀬2-6-1 WBGマリブイースト22F				
主たる事業の業種	大分類	K 不動産業、物品賃貸業			
	中分類	69 不動産賃貸業・管理業			
該当する 事業者の要件	<input checked="" type="checkbox"/>	条例施行規則（以下「規則」という。）第89条第1項第1号該当事業者			
	<input type="checkbox"/>	規則第89条第1項第2号該当事業者			
	<input type="checkbox"/>	規則第89条第1項第3号該当事業者			
	<input type="checkbox"/>	地球温暖化対策事業者以外の事業者（任意提出事業者）			
	原油換算エネルギー使用量	1,498	kl	自動車の台数	台

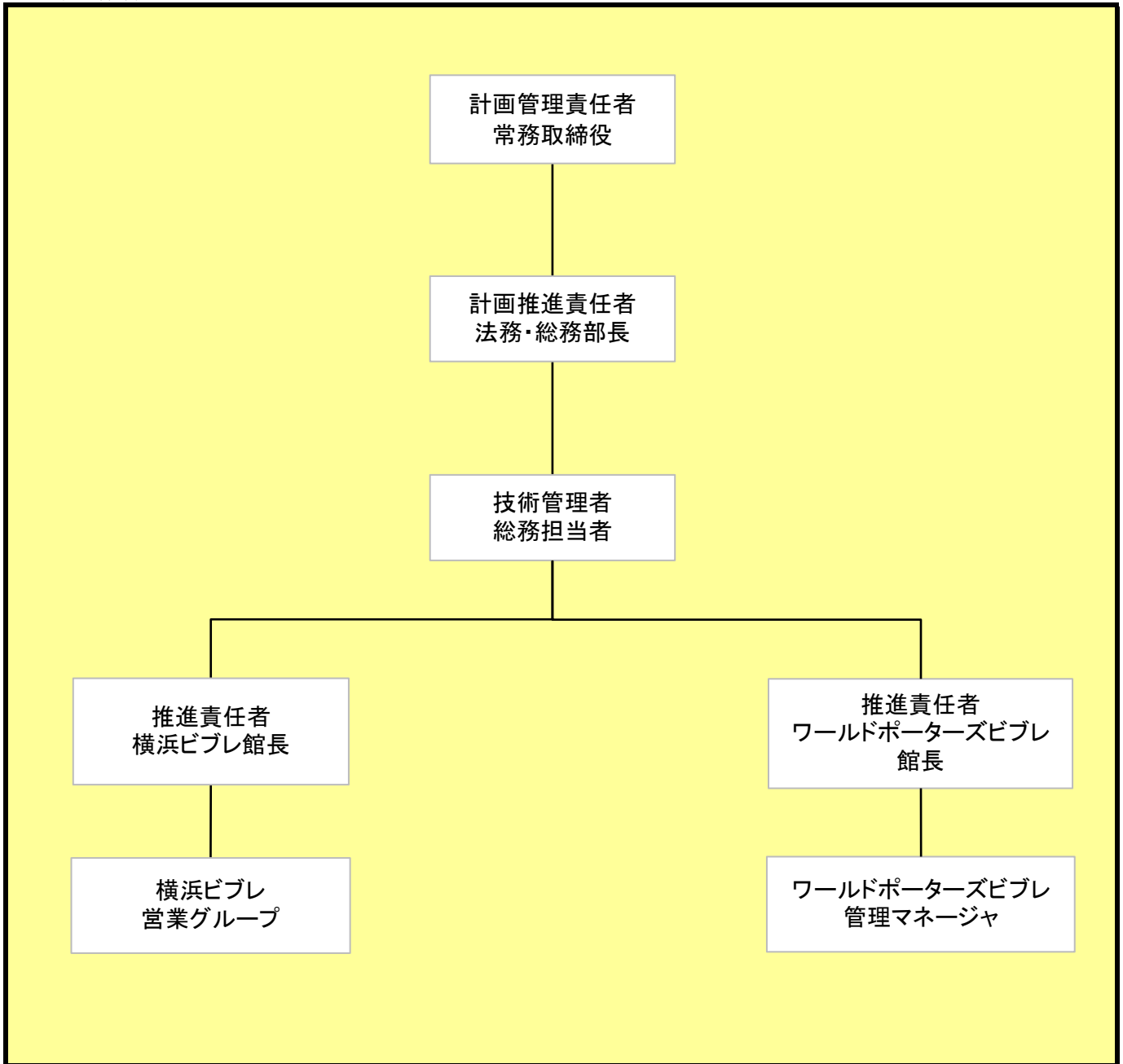
## 2 計画期間及び実施年度

計画期間	2017	年度～	2019	年度	実施年度	2019	年度
------	------	-----	------	----	------	------	----

## 3 温室効果ガスの排出の抑制等を図るための基本方針

<p>[基本方針]</p> <p>温室効果ガスの排出の抑制を図るため、燃料並びに熱及び電気の特徴を十分に考慮するとともに、設置している事業所全体を俯瞰し、適切なエネルギー管理を行う。</p> <p>また、技術的かつ経済的に可能な範囲内で事業所単位、設備単位によるきめ細かいエネルギー管理を徹底し、当該事業所におけるエネルギーの使用の合理化の適切かつ有効な実施を図る。</p>
---

4 推進体制



5 公表の方法等

ホームページ	アドレス	
窓口で閲覧	閲覧場所	本社
	所在地	千葉県千葉市美浜区中瀬2-6-1 WBGマリブイースト22F
	閲覧可能時間	平日9:00～18:00
冊子	冊子名	
	入手方法	
その他		

細則第38号様式（第2条第49号）  
（総括票）

6の1 温室効果ガスの排出の抑制に係る目標等の状況（第1号及び第2号該当事業者）

基準年度 (2016年度)	基準排出量	3,348	t-CO <sub>2</sub>			基準原単位	54.04	t-CO <sub>2</sub> /	千㎡h
	調整後	3,298	t-CO <sub>2</sub>			目標原単位	52.42	t-CO <sub>2</sub> /	千㎡h
目標年度 (2019年度)	目標排出量	3,248	t-CO <sub>2</sub>	削減率	3.0 %	削減率	3.0 %		
排出の抑制に係る目標の設定の考え方	<p>1. エネルギー使用量は、建物の延床面積及び営業時間で大きく変動するため、原単位の指標は、延床面積×営業時間とした。但し、営業時間は平成28年度を1.0の係数とする。 2. 省エネ法に準じ、年平均1%とし、基準年度比で計3%のエネルギーの削減を目標として算出しました。</p>								
事業者全体としての目標等									
第一年度 (2017年度)	排出量	3,399	t-CO <sub>2</sub>	削減率	▲ 1.5 %	排出原単位	52.12	t-CO <sub>2</sub> /	千㎡h
	調整後	3,218	t-CO <sub>2</sub>	削減率	2.4 %		削減率	3.6 %	
目標等の達成状況及び説明	<p>気温の上昇に伴う空調の負担増とテナント入れ替えに関わる照明、昇降機使用の為の電力使用の増加により結果として排出量を削減することが出来なかった。 尚、ワールドポーターズビブレにおいて、延床面積が営業面積だったのを横浜ビブレと同じく総延床面積に統一した。</p>								
第二年度 (2018年度)	排出量	3,397	t-CO <sub>2</sub>	削減率	▲ 1.5 %	排出原単位	52.09	t-CO <sub>2</sub> /	千㎡h
	調整後	3,187	t-CO <sub>2</sub>	削減率	3.4 %		削減率	3.6 %	
目標等の達成状況及び説明	<p>ワールドポーターズ/横浜ビブレ共に、電気の使用量は第一年度に比べ削減することが出来たが、夏期猛暑の影響により空調負荷が高く横浜ビブレでの都市ガス使用量が前年度に比べ増加した。 結果、排出量は第一年度と同等の状態を維持するに留まった。</p>								
第三年度 (2019年度)	排出量	2,947	t-CO <sub>2</sub>	削減率	12.0 %	排出原単位	45.19	t-CO <sub>2</sub> /	千㎡h
	調整後	2,742	t-CO <sub>2</sub>	削減率	16.9 %		削減率	16.4 %	
目標等の達成状況及び説明	<p>横浜ビブレが2019年3月に熱源（吸収式冷温水発生機No.1号機）を高効率の物に更新。また、2019年10月、空調機（エアハンドリングユニット）にインバーター設備を導入したことでエネルギー使用量の大幅削減をすることができた。 加えてワールドポーターズは2020年3月から他社へ移管され、全体の排出量も大幅削減した。</p>								
計画期間全体の排出状況に関する説明	<p>2018年度の記録的な猛暑により使用量が増加したが、2019年度に設備の更新、効率化を実施することで目標原単位を大きく達成することができた。</p>								

細則第38号様式（第2条第49号）  
（総括票）

6の2 温室効果ガスの排出の抑制に係る目標等の状況（第3号該当事業者）

基準年度 （年度）	基準排出量		t-CO <sub>2</sub>			基準原単位		t-CO <sub>2</sub> /	
	調整後		t-CO <sub>2</sub>			目標原単位		t-CO <sub>2</sub> /	
目標年度 （年度）	目標排出量		t-CO <sub>2</sub>	削減率		%		削減率	
排出の抑制に係る目標の設定の考え方									
事業者全体としての目標等									
第一年度 （年度）	排出量		t-CO <sub>2</sub>	削減率		%	排出原単位		t-CO <sub>2</sub> /
	調整後		t-CO <sub>2</sub>	削減率		%			削減率
目標等の達成状況及び説明									
第二年度 （年度）	排出量		t-CO <sub>2</sub>	削減率		%	排出原単位		t-CO <sub>2</sub> /
	調整後		t-CO <sub>2</sub>	削減率		%			削減率
目標等の達成状況及び説明									
第三年度 （年度）	排出量		t-CO <sub>2</sub>	削減率		%	排出原単位		t-CO <sub>2</sub> /
	調整後		t-CO <sub>2</sub>	削減率		%			削減率
目標等の達成状況及び説明									
計画期間全体の排出状況に関する説明									

細則第38号様式（第2条第49号）  
（総括票）

7 事業所等における温室効果ガスの排出状況

事業所等の規模 (原油換算エネルギー使用量)	基準年度		第一年度		第二年度		第三年度	
	事業所等の 数(所)	排出量の 合計(t-CO <sub>2</sub> )	事業所等の 数(所)	排出量の 合計(t-CO <sub>2</sub> )	事業所等の 数(所)	排出量の 合計(t-CO <sub>2</sub> )	事業所等の 数(所)	排出量の 合計(t-CO <sub>2</sub> )
3,000k l 以上								
1,500k l 以上 3,000k l 未満								
500k l 以上 1,500k l 未満	1	2,741	1	2,785	1	2,802	1	2,446
500k l 未満	1	607	1	614	1	595	1	501
合計	2	3,348	2	3,399	2	3,397	2	2,947

8 自動車における温室効果ガスの排出状況

自動車の区分	基準年度		第一年度		第二年度		第三年度	
	台数(台)	排出量の 合計(t-CO <sub>2</sub> )	台数(台)	排出量の 合計(t-CO <sub>2</sub> )	台数(台)	排出量の 合計(t-CO <sub>2</sub> )	台数(台)	排出量の 合計(t-CO <sub>2</sub> )
普通貨物自動車								
小型貨物自動車								
大型バス								
マイクロバス								
乗用自動車								
合計								
低公害かつ低燃費な車の 導入割合(%)		%		%		%		%

細則第38号様式（第2条第49号）  
（総括票）

9の1 重点対策の実施状況（第1号及び第2号該当事業者）

重点対策	実施状況の判断を行う単位	基準年度	第一年度						第二年度						第三年度							
			対策状況	実施済事業所数/対象事業所数	設備の種類、実施済設備数/対象設備数	完了予定年度(実施中、未実施の場合)	未実施・非該当の理由	実施状況	対策状況	実施済事業所数/対象事業所数	設備の種類、実施済設備数/対象設備数	完了予定年度(実施中、未実施の場合)	未実施・非該当の理由	実施状況	対策状況	実施済事業所数/対象事業所数	設備の種類、実施済設備数/対象設備数	完了予定年度(実施中、未実施の場合)	未実施・非該当の理由	実施状況		
第1号及び第2号該当事業者	1	推進体制の整備	事業者全体(市内分)	実施中	実施中	1/2	—	2018年度		平成30年度より推進予定	実施済	2/2	—	年度		推進体制に記載	実施済	2/2	—	年度		
	2	主要なエネルギー使用設備の更新等の検討	事業者全体(市内分)	未実施	実施中	0/1	—	2019年度		LED照明 平成31年度を目途に予定	実施中	0/1	—	2019年度		2019年度を目途に予定	実施済	1/1	—	年度		2019年度に完了
	3	機器管理台帳の整備	事業者全体(市内分)	未実施	未実施	0/2	—	年度		主要設備の情報を把握のうえ次期計画までに記載内容を整理	未実施	0/2	—	年度		主要設備の情報を把握のうえ次期計画までに記載内容を整理	実施済	2/2	—	年度		ワールドボーターズは年度途中で他社へ移管
	4	照明設備の運用管理	事業者全体(市内分)	未実施	未実施	0/1	—	年度		次期計画までに台帳を整備する	未実施	0/1	—	年度		次期計画までに台帳を整備する	未実施	0/1	—	年度		次期計画までに台帳を整備する
	5	エネルギー使用量の把握	個別票対象事業所	未実施	未実施	0/1	—	年度		次期計画までに「設備別」の資料を整備する	未実施	0/1	—	年度		次期計画までに「設備別」の資料を整備する	未実施	0/1	—	年度		次期計画までに「設備別」の資料を整備する
	6	各種図面の整備	個別票対象事業所	未実施	未実施	0/1	—	年度		次期計画までに図面の整備をする	未実施	0/1	—	年度		次期計画までに図面の整備をする	未実施	0/1	—	年度		次期計画までに図面の整備をする
	7	外気導入量の適正管理	個別票対象事業所	実施中	実施中	0/1	—	2019年度		平成31年度完了を目途に管理を徹底	実施中	0/1	—	2019年度		2019年度完了を目途に管理を徹底	実施済	1/1	—	年度		2019年度完了
	8	フィルター等の清掃	個別票対象事業所	未実施	未実施	0/1	—	年度		次期計画までに管理標準を整備する	未実施	0/1	—	年度		次期計画までに管理標準を整備する	実施済	1/1	—	年度		2019年度完了
	9	ポンプ、ファン及びブロワーの適正な流量管理	個別票対象事業所	未実施	未実施	0/1	—	年度		次期計画までに管理標準を整備する	未実施	0/1	—	年度		次期計画までに管理標準を整備する	実施済	1/1	—	年度		2019年度完了
	10	変圧器の需要率管理、効率管理	個別票対象事業所	未実施	未実施	0/1	—	年度		次期計画までに需要率、負荷率を含めた管理標準を整備する	未実施	0/1	—	年度		次期計画までに需要率、負荷率を含めた管理標準を整備する	未実施	0/1	—	年度		次期計画までに需要率、負荷率を含めた管理標準を整備する
	11	室内温度の適正管理	事業所	実施中	実施中	0/2	—	2019年度		平成31年度完了を目途に管理を徹底	実施中	0/2	—	2019年度		2019年度完了を目途に管理を徹底	実施済	2/2	—	年度		ワールドボーターズは年度途中で他社へ移管
	12	地下駐車場の換気管理	事業所	未実施	未実施	0/1	—	年度		次期計画までに運転予定表等を整備する	未実施	0/1	—	年度		次期計画までに運転予定表等を整備する	未実施	0/1	—	年度		次期計画までに運転予定表等を整備する
	13	照明設備の高効率化	事業所	未実施	未実施	0/1	—	年度		次期計画までに設備図(照明)を整備する	未実施	0/1	—	年度		次期計画までに設備図(照明)を整備する	未実施	0/1	—	年度		次期計画までに設備図(照明)を整備する
	14	事務所機器の待機電力管理	事業所	未実施	未実施	0/2	—	年度		次期計画までに管理票類、運用手順書を整備する	未実施	0/2	—	年度		次期計画までに管理票類、運用手順書を整備する	未実施	0/2	—	年度		次期計画までに管理票類、運用手順書を整備する
	15	機器性能管理	設備	未実施	未実施	(設備の種類)冷凍機 0/1	—	年度		次期計画までに機器効率に関する資料を整備する	未実施	(設備の種類)冷凍機 0/1	—	年度		次期計画までに機器効率に関する資料を整備する	未実施	(設備の種類)冷凍機 0/1	—	年度		次期計画までに機器効率に関する資料を整備する
	16	冷凍機の冷水出口温度管理	設備	未実施	未実施	(設備の種類)冷凍機 0/1	—	年度		次期計画までに実測データ、点検記録を整備する	未実施	(設備の種類)冷凍機 0/1	—	年度		次期計画までに実測データ、点検記録を整備する	実施済	(設備の種類)冷凍機 1/1	—	年度		2019年度完了
	17	燃焼設備の空気比管理	設備	非該当	非該当	(設備の種類) /	—	年度		該当設備がない為	非該当	(設備の種類) /	—	年度		該当設備がない為	非該当	(設備の種類) /	—	年度		該当設備がない為
	18	排出ガス温度の管理	設備	非該当	非該当	(設備の種類) /	—	年度		該当設備がない為	非該当	(設備の種類) /	—	年度		該当設備がない為	非該当	(設備の種類) /	—	年度		該当設備がない為
	19	蒸気配管のバルブ等の保温	設備	非該当	非該当	(設備の種類) /	—	年度		該当設備がない為	非該当	(設備の種類) /	—	年度		該当設備がない為	非該当	(設備の種類) /	—	年度		該当設備がない為
	20	工業炉表面の断熱強化	設備	非該当	非該当	(設備の種類) /	—	年度		該当設備がない為	非該当	(設備の種類) /	—	年度		該当設備がない為	非該当	(設備の種類) /	—	年度		該当設備がない為
	21	コンプレッサの吐出圧の適正化	設備	非該当	非該当	(設備の種類) /	—	年度		該当設備がない為	非該当	(設備の種類) /	—	年度		該当設備がない為	非該当	(設備の種類) /	—	年度		該当設備がない為
	22	コンプレッサの吸気管理	設備	非該当	非該当	(設備の種類) /	—	年度		該当設備がない為	非該当	(設備の種類) /	—	年度		該当設備がない為	非該当	(設備の種類) /	—	年度		該当設備がない為

9の2 重点対策の実施状況（第3号該当事業者）

重点対策	実施状況の判断を行う単位	基準年度	第一年度						第二年度						第三年度					
			対策状況	実施済事業所数/対象事業所数	実施済車両台数/対象車両台数	完了予定年度(実施中、未実施の場合)	未実施・非該当の理由	実施状況	対策状況	実施済事業所数/対象事業所数	実施済車両台数/対象車両台数	完了予定年度(実施中、未実施の場合)	未実施・非該当の理由	実施状況	対策状況	実施済事業所数/対象事業所数	実施済車両台数/対象車両台数	完了予定年度(実施中、未実施の場合)	未実施・非該当の理由	実施状況
第3号該当事業者	23	推進体制の整備	事業者全体(市内分)		/	—	年度				—	年度				/	—	年度		
	24	自動車の適正な使用管理	事業者全体(市内分)		—	/	年度				—	年度				—	/	年度		
	25	エネルギー使用量等に関するデータの管理	事業者全体(市内分)		—	/	年度				—	年度				—	/	年度		
	26	エコドライブ推進体制の整備	事業者全体(市内分)		/	—	年度				—	年度				/	—	年度		
	27	自動車の適正な維持管理	事業者全体(市内分)		/	—	年度				—	年度				/	—	年度		

10 目標対策及び事業者の発意による対策の実施状況

- （注意事項） ・ 対策の効果が重複して計上されない様にご注意ください。  
・ 燃料・熱・電気等の使用量は、一年間での値に換算して記入してください。  
・ 記載欄が不足する場合は、横浜市へご連絡ください。

		削減量合計 事業者総排出量		事業者総排出量 (t-CO2)		CO2排出量合計① (t-CO2)		CO2排出量合計② (t-CO2)		削減量合計 (t-CO2)					
		%													
連番	具体的な対策	事業所名	対策の実施年度 (西暦)	実施前				実施後				削減量 □(t-CO2)	投資金額		
				実施前の運用状況/設備状況	燃料・熱・電気等の使用量			CO2排出量 (t-CO2)	実施後の運用状況/設備状況	燃料・熱・電気等の使用量				CO2排出量 (t-CO2)	
					種別	使用量	単位			種別	使用量				単位
														千円	
														千円	
														千円	
														千円	
														千円	

細則第38号様式（第2条第49号）  
（総括票）

11 再生可能エネルギー利用設備等の導入状況

番号	設備機器の種類	導入年度	性能等	備考
1		年度		
2		年度		
3		年度		
4		年度		
5		年度		

12 クレジット等に関する取組状況

番号	種類	年度	オフセット対象範囲	特定温室効果ガス換算量	備考
1	電気の使用	2019年度	横浜市内事業所	205	東京電力エナジーパートナー
2		年度			
3		年度			
4		年度			
5		年度			

13 その他の地球温暖化を防止する対策の実施状況

基準年度までの対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境保全活動に関する社員啓発活動の実施</li> <li>・廃棄物の分別及びリサイクルの実施</li> </ul>
計画期間内に実施する対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境保全活動に関する社員啓発活動の実施</li> <li>・廃棄物の分別及びリサイクルの実施</li> </ul>
第一年度実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境保全活動に関する社員啓発活動の実施</li> <li>・廃棄物の分別及びリサイクルの実施</li> </ul>
第二年度実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境保全活動に関する社員啓発活動の実施</li> <li>・廃棄物の分別及びリサイクルの実施</li> </ul>
第三年度実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境保全活動に関する社員啓発活動の実施</li> <li>・廃棄物の分別及びリサイクルの実施</li> </ul>

14 実施状況等に対する自己評価

環境保全活動に関する社員啓発活動の実施により目標数値を達成することができた。
--